週刊 観光経済新聞
宿泊・旅行業・運輸・自治体（観光全般）

日本専門新聞協会加盟紙
国土交通省交通運輸記者会所属
発行所
東京都台東区池之端２－７－17
井門池之端ビル　〒110-0008
株式会社観光経済新聞社
電話　03(3827)9800(代)
FAX　03(3827)9730

北海道支局
札幌市中央区北６条西27丁目
1-3-705　〒064-0826
電話　011(624)5030
FAX　011(621)2530

関西支局
大阪市北区梅田1丁目11番4－1000号
大阪駅前第4ビル　〒530-0001
電話　06(7636)6377
FAX　06(6131)6199

九州支局
福岡市早良区室見1－12－1－508
〒814-0015
電話　070(6666)6350
FAX　092(836)7992

購読料年間 19,800円(税・送料込)
(税抜18,000円)

振替口座　00140-2-86888番
e-mail info@kankokeizai.com

PMS導入
あきらめていませんか？
宿泊施設様向け
業務支援システム/PMS
every+1®
だれでも どこでも すぐに つかえる
GRIT株式会社
TEL:050-7112-0054

奈良県観光の現状と展望

山下真知事に聞く

奈良県生駒市の市長を3期9年務めた後、23年5月に奈良県知事に当選、就任した山下真氏。知事公約の経済・観光振興では「2025年大阪・関西万博を絶好の好機と捉え、大阪・京都など近隣府県と連携し、体験型観光の強化などでインバウンドの取り込みを図る」「民間のアイデアで観光にイノベーションを起こすための戦略本部（仮）の設置」などを掲げていた。山下知事に奈良県の観光の現状と展望を伺った。（聞き手＝本社・江口英一）

地方創生トップインタビュー

日帰りから滞在型へ転換
30年までに宿泊者数500万人目指す

山下　真氏（やました・まこと）1968年6月30日、山梨県山梨市生まれ。東京大学文学部卒業後、京都大学法学部に編入、卒業。2000年弁護士登録。06年奈良県生駒市長（3期9年）。23年5月から現職。現在1期目。

――公約通り、今年5月に奈良県観光戦略本部を立ち上げられました。奈良県の観光における課題と目指すべき姿について教えてください。

本県の観光における課題は「観光消費額が非常に少ない」「宿泊客数が非常に少ない」「観光客が奈良公園周辺に集中している」ことだ。目指すべき姿は「奈良県の観光GDPの飛躍的かつ持続的拡大」だと考えている。

――5月15日に行われた観光戦略本部の第1回本部会議等でも宿泊者比率の低さや奈良公園エリアへの観光客集中が指摘されていました。

コロナ禍前のデータだが、2019年は奈良県が全国44位（22年度・1万209室）、延べ宿泊者数も全国46位（23年度・260万人）と低迷している。一方、観光入込客数は全国19位（19年度・4502万人）であり、宿泊者数と訪問者数にかい離がある。直面している課題は、ハイエンド観光客に対応した奈良のブランド力向上に寄与することができる奈良公園の特定の狭いエリアに、しかも10時から17時の間に国内外からの観光客が集中して混雑している。

――宿泊施設の充実、拡大は県が目指す「日帰り観光から滞在型観光への転換」にとって最重要課題の一つですね。

奈良県は、宿泊客室数が全国44位（22年度・1万209室）、延べ宿泊者数も全国46位（23年度・260万人）と低迷している。一方、観光入込客数は全国19位（19年度・4502万人）であり、宿泊者数と訪問者数にかい離がある。直面している課題は、ハイエンド観光客に対応した奈良のブランド力向上に寄与すること。

「奈良県宿泊施設立地促進事業補助金」「県税の不均一課税」「制度融資」「宿泊施設整備資金（総合特区支援）利子補給金」などを用意している。中でも目玉は、最大補助額が2億円の「奈良県宿泊施設立地促進事業補助金」だ。「新築・新規開業」に限定していた補助対象を24年度から「古民家など既存建物のリノベーションによる開業」や「すでに営業中の既存宿泊施設の改修等」にも拡大し、補助率も投資額の5%から10%へと引き上げた。本制度が、大規模施設立地が困難な県中南部における宿泊施設の立地・投資の後押しになることで、同地域にゆっくりと滞在し、奥深い歴史文化資源や雄大な自然に触れていただける環境整備が進むことを期待している。また、既存宿泊施設の魅力向上への投資にもぜひご活用いただきたいと考えている。

――宿泊施設、宿泊客の誘致目標は。

21年7月に策定した「奈良県観光総合戦略」では、25年に宿泊客室数1万2千室を目標に掲げた。また今年（24年）5月に設置した観光戦略本部会議で、30年までに延べ宿泊者数500万人を目指すことを決めた。日帰り型観光から宿泊型観光への転換に資するような魅力的な宿泊施設を増やし、宿泊者数の増加を図っていきたい。

――新規の宿泊施設誘致も大切ですが、既存宿泊施設にはどのようなご配慮をされていますか。

イコールフッティングが前提であり、公正な競争環境が損なわれるような事態は避けなければなりません。

先述の通り、24年度に「奈良県宿泊施設立地促進補助金」を改正し、新たに県内既存宿泊施設の続改築についても補助対象とした。「制度融資」「宿泊施設整備資金（総合特区支援）利子補給金」も同様に、既存宿泊施設の増改築等にご活用いただける。これらの制度は、一定の基準を満たせば、県外・県内の事業者、また、新規・既存宿泊事業者を問わずに活用が可能だ。新規宿泊施設の誘致も大切だが、既存宿泊施設の高付加価値化・魅力向上も宿泊者数を増加させる需要な要素であるため、それに係る投資を後押しするような支援を行っていく。

――来年開催される大阪・関西万博を契機とした県への誘客促進策は。

現在、国内旅行客や訪日旅行客の多くは、宿泊予約サイト（＝OTA・オンライン・トラベル・エージェント）を通じた個人予約が一般的となっていることから、OTAでのプロモーションが有効と考えている。インバウンド誘客については11月27日にエクスペディアと連携協定を結んだ。同サイト内に本県の魅力を紹介する特集コーナーを設置。トップページ等に奈良県専用特別バナーも掲載する。国内向け誘客促進策としては、本県ならではの食の魅力向上と発信の強化を図り、食を目的とした宿泊誘客を促進するため、県内の宿泊施設と連携・協力。食にまつわる体験コンテンツや、食文化や食材を楽しめる宿泊プランの造成を行い、じゃらんnetでプロモーションを展開している。

上質なホテルが少ないこと、客室数の約50%が奈良市に集中し、県内を周遊したい観光客層に対応しきれていないこと、既存宿泊施設の老朽化など高齢化に伴う後継者不足も深刻であるというお声も伺っている。

――県は「奈良県宿泊施設立地支援ガイド」というA4版・全25頁の冊子を今年4月に発行されました。新規だけでなく既存の宿泊施設に対してもさまざまな支援制度を提供されていますね。

県の支援制度としてもぜひご活用いただきたいと考えています。

――宿泊施設、宿泊客

観光指針

2024年7～9月期の日本人の国内旅行消費額は7・3兆円だった。統計上、四半期の実績として過去最高。24年1～9月の累計は18・6兆円となった。残る10～12月期が前年と同額だった場合でも、24年の年間消費額は24・3兆円に達する▼これまで過去最高だった19年の21・9兆円を上回り、政府の「明日の日本を支える観光ビジョン」や「観光立国推進基本計画」に掲げられた目標の22兆円を大幅に上回る▼インバウンド消費も好調だ。24年1～9月累計は5・9兆円に上り、年間値は8兆円が視野に入っている。日本人の国内旅行消費が24・3兆円、インバウンド消費が8兆円だった場合、合計は32・3兆円となる計算。日本人の海外旅行（国内消費分）を含めた日本国内における旅行消費額は、23年に記録した28・1兆円が過去最高だが、これを上回るのはほぼ確実だ▼こう見ると国内における旅行消費はコロナ禍から回復し、成長軌道に乗ったように見えるが、国内旅行に関してはそうとも言えない。宿泊料金をはじめ物価高騰を背景に旅行者1人当たりの旅行支出は上昇しているが、宿泊・日帰りを合わせた延べ旅行者数はコロナ前の19年の実績をいまだに回復していない。統計が語る数値は貴重なデータだが、「過去最高」という統計通りに事業者や地域に潤っているという実感があるのかどうか。【S・M】

観国之光

クニノ ヒカリ ヲ ミル　■485■

――観光業界の今を読み説く

「伝統的酒造り」が世界遺産に
酒蔵ツーリズム普及に朗報

日本酒や本格焼酎、泡盛などの「伝統的酒造り」が国連教育科学文化機関（ユネスコ）の無形文化遺産に登録される見通しだ。2日からパラグアイのアスンシオンで開かれるユネスコ政府委員会で正式決定される。

登録されると、2022年の「風流踊（風流おどり）」以来で、これで日本の無形文化遺産は23件となる。ちなみに、現在は「書道」が登録候補として提案中だ。

2013年に「和食」が登録されており、わが国の食文化が国際的にまた認められるのは素直にうれしい。

伝統的酒造りは、こうじ菌を使い、蒸した米などの原料を発酵させる。日本古来の製造技術で、複数の発酵を同じ容器の中で同時に進める工程は世界でも珍しいといわれる。

日本酒だけをみても各地にさまざまな地酒がある。例えば、米どころ新潟県には日本酒の酒蔵は90ほどあり、日本酒は新潟を代表する特産品の一つといえる。

ただ、日本酒の出荷量は1973年度の約177万キロリットルがピークで、21年度では約40万キロリットルまで減少している。人口減や酒の多様化などに伴う日本酒離れが要因とされる。一方で、日本食ブームなどを背景に海外の輸出は伸びている。清酒の輸出額は12年の約89億円から23年は約411億円まで増えている。

酒を取り巻く市場の先行きは楽観視できない。酒を飲まない若者も多く、飲酒文化も変化しつつあるからだ。しかし、登録をきっかけに酒そのもの、あるいは酒造りに関心を示す人も出てくるかもしれず、そうなれば酒蔵ツーリズムの普及にも一段と弾みがつく（ついてほしい）。

酒蔵ツーリズムは各地で取り組まれている。例えば、佐賀県の鹿島市観光協会は昨年、「産業観光まちづくり大賞」で観光庁長官賞を受賞した。

富久千代酒造「大吟醸鍋島」がインターナショナルワインチャレンジ（IWC）で世界一の称号を得たことを契機に、市内6蔵を中心に鹿島酒蔵ツーリズムを実施。銘柄を選択できる日本酒の角打ちセットの販売などを行った。

高山の「酒蔵のん兵衛まつり」には多くの観光客が足を運ぶ（オープニングセレモニー）

来場者が増える中で、酒蔵通りに観光酒蔵や宿泊施設を作り、最寄り駅の肥前浜駅には日本酒バーHAMABARをオープンした。10月には国民スポーツ大会に出席された天皇皇后陛下がここのバーを訪れ、鹿島酒蔵ツーリズムについて説明を受けられたという。

岐阜県高山市では毎年、日本酒の試飲とまち歩きを楽しんでもらう「飛騨高山・酒蔵のん兵衛まつり」を開催している。100年以上の歴史を六つの酒蔵が協力し、観光客らをもてなしている。

日本の酒文化に乾杯。【内井高弘】

宿泊業、9月の売上高
前年同月比2.7%増
総務省調査　コロナ前比は24.7%増

総務省がこのほど公表したサービス産業動向調査の9月分速報で、同月の宿泊業（旅館・ホテル、簡易宿所、下宿業）の売上高は前年同月比2・7%増の5954億640万円と4カ月連続で増加した。コロナ禍前の2019年同月比は24・7%の増加。

今年5月に0・1%減と、2021年12月から続いていた前年同月比の増加が29カ月連続でストップしたものの、再び増加が続いている。

サービス産業全体は同0・2%増の35兆382億1600万円と35カ月連続で増加した。

前年同月比0.4%増
宿泊業の従事者数

同月のサービス産業の事業従事者数は、宿泊業が前年同月比0・4%増の72万2400人と33カ月連続で増加した。

コロナ禍前の2019年同月比は0・8%の増加。

全旅連青年部全国大会特集　3～5面

本社テーマ
観光立国の実現は、地方（地域）から
since1950

今週の紙面

2面
観光庁、補正予算に543億
観光庁は、2024年度補正予算案に観光関係予算として543億円を計上した。「高付加価値化」に300億円、オーバーツーリズム対策等の受け入れ環境整備に158億円。

7面
日本観光の発信拠点に
日本旅行はタイ・バンコクでリニューアルオープンした市場に日本のアンテナショップコーナーを開設した。日本の地域観光資源の発信拠点と位置付け。

9面
京都４館が認証同時取得
京都市内の４旅館が、ＳＤＧｓ対応を行う宿泊施設の認証制度「サクラクオリティグリーン」で上位３番目の「３御衣黄ザクラ」を同時取得した。

10面
群馬七大温泉地が「フェア」
群馬県が「ぐんま七大温泉地湯めぐりフェア」を展開。ウェブアプリの「湯めぐり手形」販売やインバウンド向けプレミアムイベントの実施など。

11面
エクスペディアと連携
奈良県とエクスペディアグループが観光振興に関わる連携協定を結んだ。外国人観光客や宿泊客の誘致拡大へ、サイト上での情報発信を進める。

観光経済新聞
kankokeizai.com

Panasonic
ランターナ
LANTERNA
多言語でのおもてなしや施設のご紹介ができる次世代照明
詳細・お問い合わせはこちら
パナソニック マーケティング ジャパン株式会社

LG Styler™
独自のスチーム技術で衣類を簡単リフレッシュ
衣類のしわ伸ばし
消臭・除菌
ズボンの折り目ケア
「LG Styler」の導入をご検討なら
LG Electronics Japan 株式会社
電話：03-5299-4602
Mail：b2b2c@lge.com

翌日 観光付シャトルバス 運行します！
南三陸ホテル観洋 10:15発 → 道の駅 津山もくもくランド → 柳津虚空蔵尊 → みやぎの明治村 → 仙台駅 16:00頃着
※2025年5/30まで（日～木のご宿泊翌日）
※除外日有 ※コースは変更となる場合があります。
宿泊者限定【仙台⇔南三陸⇔気仙沼】
往復無料シャトルバス
毎日運行中！■【仙台駅東口】…13:30発 ■【翌日ホテル】…10:15発
姉妹館
サンマリン気仙沼ホテル観洋 TEL.0226-24-1200 〒988-0021宮城県気仙沼市港町4-19
気仙沼プラザホテル TEL.0226-23-1313 〒988-0014宮城県気仙沼市柏崎1-1
気仙沼温泉

震災を風化させないための「語り部バス」
第3回ジャパン・ツーリズムアワード大賞 受賞
要予約　語り部ガイド付き　60分・90分コースあり
Star Party ★★★星空観察会★★★ スターパーティ ★★★★★★★★★★★★★ 当館屋上にて毎月開催！ ※雨天・曇天時中止 ※詳細等はお問合せください
南三陸ホテル観洋 TEL.0226-46-2442(代) 〒986-0766 宮城県本吉郡南三陸町志津川黒崎99-17
https://www.mkanyo.jp ホテル観洋 検索
絶品ご当地グルメ！
南三陸キラキラいくら丼
2009年に当ホテルが町おこしとして発案した南三陸のA級グルメ！
南三陸温泉
ようこそ、絶景の特等席へ